

JOMF 派遣医師便り (2013. 3)

◆マニラ◆

「閉鎖空間」

マニラ日本人会診療所

菊地宏久

先日、巨大なビルのエレベーターに閉じ込められました。マニラに来て 3 年になります
が今回で 3 度目です。約 15 分ドアは開かず、15 階で停止したままでした。エレベーターに
取り付けてある直通電話からも連絡ができない状態が続きました。エレベーターには 10 人
ほど乗っていましたが、静かな閉塞感が始まりました。

初めの 1 分位は乗っていたフィリピン人達も緊張した感じでしたが、その後、歌い始め
る人が出てきました。英語の歌でしたが、そばにいた人たちも一緒に歌い始めました。隣
のフィリピン人が「Are you a Japanese?」と私に聞いてきました。いつからマニラに来た
のか、仕事は何か、家族は何人か、どこに住んでいるのかなどプライバシーまで聞いてき
ました。私に対してだけでなく、フィリピン人同士も見知らぬ人同士が同様の質問をし、
答えているようでした。一つの閉鎖空間をいやおうなしに共有することになってしまった
同志、“仲良くしましょうね”、といった感じでした。以前に 2 回エレベーターに閉じ込め
られたときにも同様だったと記憶しています。

そんなこんなしている間にエレベーターが動き始めました。皆、拍手喝采をして、さら
に大きな声でみんなでもた歌い始めました。

エレベーターは再度上昇し、次の階でドアが開いた時には歓声が上がり、降りる人に対して
エールを送り、親しい友人が去っていくかのようにドアから送り出していました。
フィリピン人の寛大さや優しさ (!) (?) を感じました。

マニラに派遣されて 3 年が過ぎようとしています。
皆様からの温かいお言葉も数多くいただき、来年 2013 年度もマニラで勤務させていただく
ことになりました。どうぞよろしく願いいたします。

皆様お体たいせつにしてください。